

**新型コロナウイルス対応緊急支援助成  
事業計画（実行団体）**

事業名(主)	フクオカアースエイド
事業名(副) <small>※任意</small>	学生中心のボランティア活動の企画／運営

入力数 主 10 字 副 19 字

実行団体名	一般社団法人アースプロジェクト福岡
資金分配団体名	一般財団法人日本未来創造公益資本財団

**優先的に解決すべき社会の諸課題**

領域	分野
<input checked="" type="checkbox"/> 1) 子ども及び若者の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> ①経済的困難など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
	<input type="checkbox"/> ②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
<input type="checkbox"/> 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> ④働くことが困難な人への支援
	<input type="checkbox"/> ⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
<input checked="" type="checkbox"/> 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> ⑥地域の働く場づくりの支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他の解決すべき社会の課題	<input checked="" type="checkbox"/> コロナ禍の影響が大きく、ボランティア参加者（活動員）の確保が難しくなっている。
------------------------	---

入力数 39 字

**SDGsとの関連**

ゴール
_17.パートナーシップで目標を達成しよう
_11.住み続けられるまちづくりを
_15.陸の豊かさを守ろう

実施時期	2021年 7月 ～ 2022年2月	事業対象地域	<input type="checkbox"/> 全国 <input checked="" type="checkbox"/> 特定地域：福岡県中心の九州各県	事業対象者： (事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む)	ボランティア活動に参加する学生や社会人	事業対象者人数	200人
------	--------------------	--------	--	---------------------------------------	---------------------	---------	------

**I.団体の社会的役割**

<p><b>(1)申請団体の目的</b></p> <p>未来ある学生たちに対して、ボランティア活動を通じて災害復興や自然環境保護活動について考え、また社会との繋がりを意識して行動できる若者を育成するために設立された団体。また、環境保護活動の勉強会やワークショップ等を開催し、学生の座学習得に努めている。災害復興のみならず、日常、地球環境を綺麗に保つことで、災害を未然に防ぐことを目的としている。</p> <p>さらには、ボランティア活動を経験することによって、将来仕事を通じて社会に係る学生たちの意識向上に努める。</p> <p>また、今期はコロナにより遅延している災害支援活動を他団体へ学生ボランティアを派遣することも積極的に行う。</p>
<p><b>(2)申請団体の概要・事業内容等</b></p> <p>一般社団法人アースプロジェクト福岡は、地球環境保護を合言葉に設立された法人。母体は株式会社三好不動産で、全ての人に最適な住環境を提供することをモットーとしている。</p> <p>災害や環境汚染など、住環境の根本となる生活環境が崩れていく昨今、その糸口を見つける為法人が設立された。特に未来を担う大学生や専門学校生を中心に様々なボランティア活動をすすめている。</p> <p>過去には、地球環境保全をコンセプトとしたイベント「ミス・アース・ジャパン福岡大会」を運営し、エンターテインメントと環境ボランティアに参加したり、啓蒙活動を行っていた。</p>

入力数 (1) 278 字 (2) 260 字

**II.事業の背景・社会課題**

<p><b>新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題</b></p> <p>①事業開始の背景 ボランティア活動に興味を示し何らかの形で社会とつながりたい、社会の役にたちたいと考えている学生が多い反面、統計上では他の年代に比べ20代前半の若者のボランティア参加率が少ない。(平成28年社会生活基本調査より) このように、思いはあるが参加方法がわからない等、実行に移しきれない彼らを募り引き上げることで、学生への支援活動として立ち上げた。</p> <p>②コロナ禍におけるボランティア活動の制限 学生中心の環境活動の事業をはじめようとした矢先にコロナ感染の拡大に伴いボランティア活動が制限され、特に県外へのボランティア参加は完全に停止された。学生はアルバイトも制限されて生活費や交際費も使える余裕もなく、ボランティア参加への金銭的、時間的余裕もない状態。また、ボランティア活動自体も3密を避けなければならないという理由で、参加そのものに二の足を踏んでいる状態。</p> <p>③コロナとの共存と今後の活動 今回の申請により、自然環境保護活動に加えて、特に自然災害の復興が、コロナにより遅延しているため災害支援活動を積極的に力を入れていきたい。</p> <p>金銭的事情によりボランティアに参加できない学生の支援や、コロナ感染防止のための基本的な備品や環境の提供によって活動に参加しやすい体制、新たなかたちの有償ボランティア（交通費の支給）を構築したい。</p> <p>また、九災対の協力団体としての公共性と信頼を得る事で、学生も安心して活動に参加できるように動めていきたい。</p>
---

入力数 623 字

III.事業内容

<p><b>(1)事業の概要</b></p> <p>①事務局による被災地の視察や自治体への聞き取り、または専門家へのヒアリングを行いノウハウの構築に務める</p> <p>②学生を主に募集し被災地派遣支援や災害を未然に防ぐ清掃活動等を実施。尚、学生の経済状況を鑑み、交通費支給の有償ボランティアを軸に事業を進める。活動は、既にコロナ禍で遅延している災害地域で実施</p> <p>③有識者を招いての勉強会やワークショップで、災害の表情や災害を事前に防ぐことの大切さを学ぶ</p> <p>④既に賛同している企業の継続と新規開拓を図る(企業と学生との協同がポイント)</p> <p>⑤災害復興を実行する団体に賛同。また、実行団体の「熊本マンガミュージアムプロジェクト」やその他認定団体へボランティア学生の派遣</p>
--

入力数 298 字

<p><b>(2)事業実施後（1年後）以降に目標とする状態</b></p> <p>当法人主催の活動は年間10回。他団体主催等の活動の賛同5回（各種団体との連携等）</p> <p>災害復興や地球環境保護に関する研修（勉強会）を並行して行う（年3回程度）</p> <p>活動を明確化し積極的に実行することで、ボランティア活動の登録学生が増える。</p> <p>尚、他県へのボランティア活動参加が制限されている中、福岡県を含む4県で活動ができるように、学生の移動負担を考慮し、各県毎の主要大学やボランティア団体と提携する。</p>
--

入力数 197 字

(3)今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
<p>①コロナ禍の中で災害ボランティア活動が継続して行われるためにノウハウ構築等事前準備を入念に行う</p> <p>②すでに約70人の学生が登録しているが、今後大学等の連携により増員を図る。</p> <p>③親会社である三好不動産のステークホルダーを活用することにより、活動へ賛同する企業・団体を増やしていく。</p>	<p>①支援活動実施回数</p> <p>②ボランティア活動登録者数</p> <p>③提携または連携先団体数</p>	<p>①支援活動実績</p> <p>②登録者カウント</p> <p>③連携団体登録リスト</p>	<p>①9か月で10回の支援活動と事前現地視察（座学含む）3回</p> <p>②ボランティア学生約200名</p> <p>③連携団体9団体（福岡、佐賀、大分、熊本）</p>	2022年3月

(4)活動	時期
1. 当法人が直接的な災害支援や、環境保全活動（災害を未然に防ぐ活動の一つとして捉えている）を学生中心のボランティア活動として行う	→ 9か月で6回（3か月に2回）
2. 他団体が主催する活動へ賛同し、当法人に登録しているボランティア学生を現地に派遣する。	→ 9か月で4回（長期休暇で実施。有事後の活動を含む）
3. 災害復興派遣前の勉強会や現地視察等の研修会を行う。また、実活動におけるコロナ感染症防止の基礎知識を習得する。	→ 9か月で3回
4. 当法人は親会社である三好不動産の環境活動やボランティア活動を実施する法人として存在し活動している。（両社がSDGsで宣言している）	
<学生ボランティアの募集、派遣、運用について>	
①学生専門旅行会社と提携して現地視察を実施 → その後、実際のボランティア活動へ移行（2Daysプラン）	
②募集形態 → 個人登録とチーム登録（3～8名程度）の募集	
③大学コンソーシアムとの連携 → 活動員としての登録に繋げる（その際、本ボランティア活動を大学の授業の単位としての認定の協議を行う）	
④インターンシップとしての位置づけ → 当ボランティア活動をインターンシップとして位置付けて受け入れる。当法人自体もインターンシップ学生を受け入れる ※当ボランティア活動がインターンシップとして位置付けられる必要協議	
⑤ふるさと貢献運動 → ふるさと納税ならぬ「ふるさと貢献」として募集する。グループ会社社員をはじめ、広く九州各県出身者へ募集を募る	
尚、現地派遣については、緊急事態宣言等の発令状況によるが、第一回の現地派遣は6月から開始予定（福岡県内の被災地から開始）	
各県の受け入れ団体と連携をとり、幅広く展開する	

IV.事業実施体制

<p><b>(1)メンバー構成と各メンバーの役割</b></p> <p>&lt;常勤メンバー&gt;</p> <p>代表理事 樋口朋晃・・・・・・・・・・・・・・全体総指揮、リスク管理（感染症対策等）、法務、渉外</p> <p>理事 齊藤寛・・・・・・・・・・・・・・活動企画、立案、実施、運営全般</p> <p>事務局 池田愛咲・・・・・・・・・・・・・・活動員登録管理、広報活動、ツール制作、管理事務</p> <p>&lt;非常勤メンバー&gt;</p> <p>理事 田中浩二・・・・・・・・・・・・・・財務/会計責任者、入出金管理全般</p> <p>ディレクター 花田久美（USPジャパン社）・・・・・現地コーディネート、運営補助、PR</p> <p>※USPジャパン社とは2017年より業務提携し、環境イベントや環境活動等で連携している。</p> <p>同社は当法人の活動に共感、PR会社持ち前の人脈と発信力で施策に大きな成果出している。</p>
<p><b>(2)他団体との連携体制</b></p> <p>災害復興支援団体と連携をとり災害派遣支援を行う。一昨年初倉市(黒川復興プロジェクト, 杷木地元応援隊「ひまわり」, 災害NGO「結」)の災害支援団体とは受け入れ可能という返事を頂いたが、コロナ禍により活動がストップした。今後福岡、佐賀、熊本、大分の大学のボランティアサークル（福岡・美容学生ボランティア団体GIFT,九州大学環境サークルEcoa,佐賀大学EA学生委員会(EArth),熊本大学リクラブ,立命館アジア太平洋大学ECOS等）や学生課へ打診し展開予定。さらに、既に本認定を受けている「熊本マンガミュージアムプロジェクト」をはじめその他認定団体へのボランティア学生派遣を実施</p>
<p><b>(3)想定されるリスクと管理体制</b></p> <p>コロナ感染・・・・・・対策用品（消毒液、マスク、フェイスガード）の準備や設備の管理。または活動前の検温と消毒の徹底。密を避けての活動活動に伴う事故・・・・・・現地へは、公共交通機関やチャーターバスの利用。怪我防止のための備品の配布や事前勉強会の実施、ボランティア保険の加入</p>

V.関連する主な実績

(1)休眠預金以外の助成・補助金活用の有無			
コロナウイルス感染症に係る事業			
①本申請事業について、コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け活動を実施している(予定も含む)	有 <input type="checkbox"/>	無 <input checked="" type="checkbox"/>	有の場合 その詳細
②本申請事業について、国又は地方公共団体から補助金又は貸付金（ふるさと納税を財源とする資金提供を含む）を受けていない	無 <input checked="" type="checkbox"/>	※有の場合、選定の対象外となります（公募要領：助成方針参照）	
(2)申請事業に関連する調査研究、連携の実績			
<p>①ボランティア団体の調査と受け入れ機関のヒアリング。一昨年、朝倉市からの紹介で打合せ実施。</p> <p>②福岡市他行政との連携・・・各自治体の災害防止を担当するセクションとの定期的な打合せ。</p> <p>③ラブアースへの共同参加（災害防止に関すること）。一昨年まで参加。</p> <p>④その他の活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政との連携を図る中で福岡市「環境フェスティバルふくおか」、福津市「環境フォーラムふくつ」、宗像市「むなかた環境100人会議」で活動実績あり。</li> <li>・世界各国で自然環境保護大使を選出するミス・アースの日本における地方大会「ミス・アース・ジャパン福岡大会」の企画／運営</li> <li>・阪急百貨店とコラボレーションした環境イベントの共催</li> </ul>			